

令和4年度 学力スタンダード指導計画・報告書

教科:(地理歴史)科目:(日本史B) 対象:(第3学年 1組～5組)

科目担当者:1～5組 矢口・佐藤・石井

教科・科目の 指導目標	<ul style="list-style-type: none"> 日本の歴史をふまえ、古代から現代までを事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化を理解する。 歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養う。 日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身に付ける。
----------------	--

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	<p>地理・歴史分野について中学校までに身に付けるべき基礎的・基本的内容の習得が不十分な生徒が多い。前年度の世界史Aにおいて学習した近現代の世界史の基礎的・基本的内容については習得できている生徒も多いが、現代との関連を考える歴史的思考力については十分とはいえない。</p>	<p>1 中学校までに学習する日本史についての基本的事項について、授業時に確認する機会を積極的に設ける。</p> <p>2 授業で扱う事象は必要最小限の分量にとどめ、基礎的知識や技能の確実な定着を図る。</p> <p>3 現代との関連性を授業に織り込み、歴史的思考力を育成する。</p>	<p>1 内容を精選し、社会において必要とされる基礎的・基本的内容の習得を図る。</p> <p>2 視聴覚教材などの活用により、視覚的にわかりやすい授業を展開することで生徒に興味・関心を持たせる。</p> <p>3 授業で学んだ基礎的・基本的内容について反復練習を行い、定着を図る。</p>

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			